

# 修学院小学校運営協議会だより

第23号 学校運営協議会理事長 青木 克之 修学院小学校長 村山 雅彦  
令和3年 3月 16日発行 家庭数配布



解氷の候、保護者の皆様には、健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

今年度も、終りに近付き、学校評価のまとめをご報告させていただきます。今年度は、学校行事も児童の安全を第一に考え、中止や変更などが多く、評価しにくい中での協力に心から感謝いたします。

来年度に向けて、新しい生活様式の中で、児童の安全を守りながら学校運営を考えてまいります。貴重なご意見に感謝いたしますと共に、さらなるご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 学校安全環境委員会

## 学び支援委員会

## 開かれた学校委員会

前回の学校運営協議会だよりでお知らせした通り、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策として、例年行っている活動や取組を中止しました。

代わりに、11月7日（土）に、教室の換気扇の清掃活動を行うこととし、当日は、PTAやおやじの会の方々も、積極的にご参加いただきました。

活動を始めると、換気扇だけでなく、エアコンのフィルターやパイプなど、脚立に上り、普段の清掃活動ではなかなか手が届かない天井付近を徹底的に行いました。

子どもたちが喜んでくれる姿を思い浮かべながら、みんなでテキパキ掃除し、どんどん分担場所がきれいになっていく様子に、私たちの気持ちもスッキリしました。

来年度こそは、『きらら給食』や『本のリユース』など、子どもたちも楽しみにしている取組ができることを願っています。

乾燥の強い冬場は、感染症対策はまだまだ油断ができない状態です。くれぐれも、体調管理をしっかりと行っていただき、ご自愛ください。



## 修学院探訪

コロナ禍に寄せて-2 「病の気をはらう」

奈良時代の器に描かれた怪しげな顔。誰だと思いませんか？

当時、病の原因は「鬼」が体内に入り込んだため！と考えられました。その病を治すため「鬼神」や「疫病神」の顔を病人が自ら描いた器に病なる息（気）を吹き込み、紙などでふたをして、

川に流し、快方を祈念しました。10世紀の『延喜式(えんぎしき)』に、6月と12月に執り行われる宮廷儀式には、川に邪気を祓(はら)い流す行事があることが記されています。中国起源の道教色彩の強い祭祀(さいし)に関連する器と考えられます。コロナの顔が分かれば、描くことができるのですが・・・？

(小池 寛)



## 開かれた学校委員会 コミュニケーションシート（学校アンケート）より

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、多くの行事や取組が中止となる中、一度も参観授業が実施できず、保護者の皆様に学習の様子を参観いただけなかった1年となりました。

そんな中でも、運動参観や学習発表会など、保護者の皆様のご理解や協力を得て実施することができたことは、大きな喜びでもありました。アンケートも、なかなか評価しにくいところもあったとは思いますが、お子たちの様子を見ながら評価していただき、感謝申し上げます。

学校運営協議会の『開かれた学校委員会』において、昨年度、および、前期のアンケート内容と比較しながら、アンケートの結果分析を行いました『確かな学力』『豊かな心』『健やかな体』の各項目から抽出してお知らせさせていただきます。また、今年度は、新型コロナウイルス感染症についての記述が多いですが、児童や保護者の方の結果の数値（％）だけではなく、実際に保護者の皆様からいただいた、自由記述にも検討課題があると考えたことから、今回は、自由記述の内容を中心に検討した結果をお知らせさせていただくことといたしました。

なお、記述内容を掲載する関係で、表・グラフ等を割愛させていただきます。結果について分かりにくい部分もあるかも知れませんが、ご了承ください。貴重なご意見、本当にありがとうございました。

## 確かな学力定着に向けて ～家庭学習と読書の習慣を～

### <結果>

前期より、全ての項目において、肯定的な評価を得ることができています。

しかし、前期では、高評価を得ていた『読書』の項目で、高学年は3%下がってしまいました。生活点検では、20～30%の児童が、ゲーム・動画などを2時間以上視聴していました。

### <分析>

低学年児童の評価は、変化が見られませんでした。高学年児童は、部活動や習い事など、学校生活だけでなく、生活そのものが時間に追われていて、ゆっくり読書に取り組む時間を確保することが難しいのかも知れません。しかし、高学年児童の、ゲーム・スマホなどを2時間以上使用している児童の存在も気になるところです。

### <学校より>

休校中、時間を大切にする意味も込めて、ご家庭で学習計画を立てて、学習を進めておられたとのお声をたくさんいただきました。自由記述にも、その習慣は現在でも継続されているご家庭もあるとのこと。学校での学習進度が早いと気にしておられるご家庭もありましたが、学習の場面で子ども同士で学習を確かめ合う時間を取ったり、補習の時間に補ったりして、抜けがないよう注意して学習を進めてきました。来年度は、45分授業に戻ります。確実に力が付くよう、より丁寧に指導に当たります。



# 豊かな心を育むために ～人を大切にするために 一人一人ができること～

## <結果>

前期同様、全ての項目において、肯定的な評価を得ることができています。

今回の結果では、『学校であった出来事を家の人に伝えているか』という項目に対して、残念ながら高学年児童が8.2%下がってしまいました。半面、低学年は2.3%前期を上回る結果を得ることができました。

『あいさつ』については高学年、低学年共に『自分からあいさつができています』と答える児童が1%～2%増えました。

## <分析>

マスク着用での生活に慣れてきたのか、『あいさつ』が少しずつ自分からできるようになってきているのかも知れません。マスク着用していたら、目を合わすだけでも、あいさつになりますね。

また、低学年児童は、家庭内で会話が増えたということは、とても喜ばしいことですが、高学年児童は、会話が減ってきたようです。保護者の方も、『学校での様子を聞くよう心掛けています』項目に対して、前期より出来ていると回答されるご家庭が5.8%減っていることとも関係しているようです。

## <学校より>

最近の子たちは、昔と比べて、とてもシャイな子が多く、挨拶をすることを恥ずかしがる子を見かけたら、どのように対処すると良いのか分からないとのご意見をいただきました。確かに、目を合わせることに抵抗を感じている子も多いようです。『子どもは大人を映す鏡』と言われています。うまく挨拶ができていないと感じられた場合は、絶えず大人が気持ちの良い挨拶をしている姿を見せるというのも、アドバイスの1つかも知れません。学校では、教職員から挨拶をしたり、声をかけたりするようにして、児童と目を合わせることを意識しながら積極的に話しかける姿を見せています。今後も、子どもと目を合わせ、会話することを大切にしていきます。

## 健やかな体で楽しい毎日を

## ～よりよい学校生活は、 健康な体づくりから～

## <結果>

全ての項目において、肯定的な評価を得ることができています。

遊びや体を動かすことに関して、特に制限されている気持ちは見られないようで、前期よりさらに1%評価が上がっていました。

その他の項目は、前期とほぼ同じ回答となっています。

## <分析>

コロナ禍でも、『人と触れない』『大きな声を出さない』などの新しい生活様式に対応した遊びを創りだし、友だちと共に遊んでいる様子が見られます。

休み時間には、大縄やボール遊びなどで体を動かしています。遊具や鉄棒を使っての学習は行うことができませんでしたが、決まった道具などを使って、自分たちで遊び方を工夫し、友だちと一緒に汗を流している姿が見られました。

正に、子どもは遊びの天才です。今後も、しっかり体を動かして、免疫力を高めてほしいです。

## <学校より>

登校してきた児童へ、毎朝手洗い・マスクの着用を促す放送を、教職員が行ってまいりました。手洗いの仕方、小まめに担任が指導しております。遊びについても、使用後すぐに消毒ができないため、遊具の使用を禁止しました。また、児童同士が直接触れ合う鬼ごっこも禁止し、少しでも直接の接触や飛沫を避け、感染リスクを下げるためと児童に説明しました。我慢することが多く、すぐに諦めるようになったと、お子たちの様子を心配しておられるお声もいただきました。また、感染症を気にしている児童も多く、不安を抱えての学校生活を送った子たちも多かったことでしょう。今後も、安全面に十分気を付けて、安心して楽しく学校生活を送ることができるよう、児童の表情や様子をしっかりと観察し、サポートしてまいります。



## 自由記述より

※紙面の関係上、ご意見が多数の場合や、文章表記について、一部省略・加筆等させていただいています。

◇大変な状況ですが、行事も工夫され、楽しむことができているように思います。感謝でいっぱいです。運動参観や学習発表会では、例年より良く鑑賞できたと思います。また、日々の中で「相手の良いところを見付け、相手に言葉にして伝える」ことが身に付いたように感じています。先生たちの一生懸命な関わりが、子どもたちに伝わっているのだと思います。

⇒大変嬉しいお言葉、ありがとうございます。励みになります。また、行事についてのご意見で、学年ごとの参観にした結果、他の方からも「ゆっくり参観できた」「集中してみることができた」とのご意見も多数いただきました。今後も、参観の手法について検討を重ねてまいりたいと思います。

◇今年度は授業参観もなく、どんな風に我が子が学習に向かっているのか、様子が分からなかった。学習面でも進度が早く、学習についていけているのか、今後に影響が出ないのか心配です。

⇒多数の方が校内に入られることで、子どもたちの感染リスクを高めてしまうことを避けることや、個人情報や肖像権の観点から、児童が映る授業を動画配信することも難しく、授業参観について断念せざるを得ませんでした。来年度は実施できることを願うばかりですが、新たな方法についても検討の必要があると感じています。

◇体調が悪い時、他の感染症での欠席扱いについてどうなるのか心配です。

⇒今年度は、全市共通で、ご家庭の事情以外の欠席は全て校長認定日として扱い、欠席にはなりません。自分の命も、友だちの命も守るという観点から、体調がすぐれない場合は、お休みしていただき体調を整える時間に充ててください。

◇給食中、無言でシーンと食べていると聞きます。皆で会話を楽しみながら食べるのと、コロナ対策とどちらも大切に、難しいと思いました。早く明るい未来になるといいですね。

⇒食事中の会話によって、一番感染リスクが高まるため、できるだけ黙って食べることを進めてきました。配膳も、給食当番の子からお盆を通じて渡し、極力お皿を持つ人数を減らすようにしました。児童の命を守ることを第一に考え、できる限りの対応を行ってきました。早くマスクを着用しなくて済む生活に戻りたいですね。

◇やっぱりこのアンケート項目、ひどいです。改善した方が良くと思います。「出来ている」か「出来ていないか」という問い方は、そこに『出来ていなくてはならない』という価値観が生まれる。それぞれの家庭に価値観があるはず。答えにくいと感じました。

⇒確かに、家庭の価値観、子どもの個性を否定するものではありません。個の得意、不得意、できる、できないこともあると認めながらも、子どもたちに『学校大好き！学校が楽しい！』と思ってもらえるよう、学校・家庭・地域が一丸となり取り組む際の大切な項目として、学校運営協議会の方々と共に検討し、作成しました。今後も、皆様の思いを受け止めながら、子どもたちが安心できる学校づくりを進めてまいります。ご協力ください。

## 開かれた学校委員会の委員の皆様より

◇今年度は、新型コロナウイルス感染症対策に十分気を使われたうえで、子どもたちの学習、生活指導をされている点、保護者の皆さんは喜んでおられると思います。

◇高学年児童は、毎日の生活が忙しいとは思いますが、読書の習慣が身に付くよう、特に大切なことだと今後も指導していただきたい。

◇『豊かな心』の項目内に、『子どもは大人を映す鏡』とありますが、その通りで大人から気持ちの良い挨拶をして見せることが大切ですね。

◇コロナ禍でも、学校生活が楽しいと、肯定的な評価が得られていることに安心を覚えます。令和3年度もよろしくお願いします。